

## 中国で発生した新型コロナウイルス(2019-nCoV)肺炎について (第1報)

2019年12月に、中国湖北省武漢市においてSARSやMERSとは異なる新型コロナウイルス (novel coronavirus, nCoV) による肺炎のアウトブレイクが起っています。武漢市内の海鮮市場が感染源となっている可能性が考えられ、そこで売られている動物からヒトへの感染が疑われています。



表 1. nCoV肺炎の経過 (2020年1月16日現在)

国/報告日	患者	経過	感染経路
中国	海鮮市場 (華南海鮮城) の従業員、業者、客の41人が2019-nCoVによる肺炎発症	12月8日～1月2日に発病。1名死亡、6名重症、7名退院	海鮮市場には行っていない家族からの感染疑い症例もあり
タイ/1月8日	タイ・バンコクにて武漢在住の観光客 (61歳女性) からnCoVによる肺炎発症	1月5日に咽頭痛、頭痛、悪寒を伴う発熱が出現	海鮮市場には行っていない
日本/1月16日	武漢から帰国した神奈川県在住の中国人の30代男性がnCoV肺炎と報道される	1月3日から発熱、6日に武漢市から帰国し、同日、医療機関を受診し、1月10日から入院。1月15日に症状が軽快し、退院。	海鮮市場には立ち寄っていない。中国において、詳細不明の肺炎患者と濃厚接触の可能性がある。

表 2 に示しますように、SARSやMERSに比べ、現時点では致死率は低く、また、ヒト-ヒト感染も密接な接触のある場合に限定的であると考えられています。

表 2. SARS、MERSとの比較

	SARS	MERS	2019-nCoV 2019年～
流行年	2002～2004年	2014年～	中国
流行地域	中国、カナダ、台湾、シンガポールなど32の国、地域	中東、韓国など	中国
患者数	8096	2464	43
死亡者数	774	850	1
致死率	9.6%	34.5%	2.3%

2週間以内に中国湖北省武漢市を訪れた、あるいはnCoVによる肺炎の患者と接触した人で、37.5℃以上の発熱と呼吸器症状を発症している場合には、保健所に連絡して検体を検査してもらう場合がありますので、感染制御部 (に御連絡ください)。